



# 市議会だより

かかみがはら

発行  
各務原市議会

岐阜県各務原市那加桜町1-69  
電話058-383-2001

編集  
市議会だより編集委員会



絵本や紙芝居の読み聞かせを楽しむ親子（10月14日・あおぞら子ども館）

## 9月定例会

平成27年度一般会計決算を認定	2
委員会審査	4
委員会調査報告	6
審議結果	7

### 市政を問う 一般質問

在宅医療体制の構築	8
事業成果や実績の評価を公開	9
ビジネス相談窓口を開設	10
市民協働によるインフラの維持管理	11
市民の声、ひとつ	12

# 平成27年度一般会計決算 総額497億6123万円を認定 川島市民サービスセンター建設事業など

平成28年第3回定例会を9月12日から10月7日までの26日間の会期で開催しました。市長から提出された議案は、平成27年度一般会計決算をはじめとする23案件で、委員会、本会議を経て、いずれも原案のとおり承認・認定・可決・同意しました。

## 平成27年度 一般会計決算

### 市長提案理由説明要旨

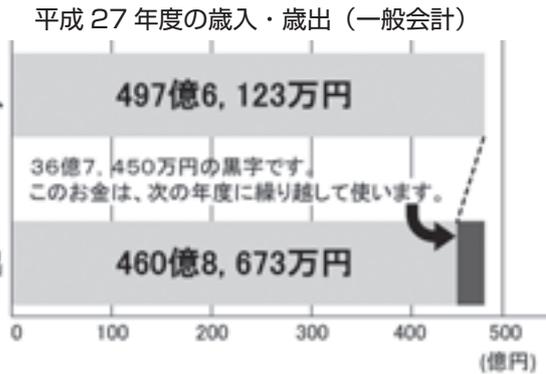
平成27年度は、アベノミクスの推進により、雇用・所得環境に改善が見られ、地方においても経済の好循環に向けた動きが感じられた年でした。

そのような中、地方創生に果敢に挑んでいくため、国の交付金に対し「かみがはら航空宇宙科学博物館リニューアル事業」を積極的に申請し採択されるなど、効果的な事業の実施に努めてきました。また、新たな総合計画を本格的にスタートさせ、「笑顔があふれる元気な

まち」の実現に向け、幅広く事業を展開してきました。

特に、子ども・子育てや教育の分野に力を入れ、全小中学校に電子黒板などを配備する学校ICT化推進事業を実施したほか、すべての小学校で空調設備の整備を完了しました。

このように平成27年度は、地方創生に向けた新たな取り組みに対して積極果敢に挑むとともに、総合計画についてもさまざまな分野の取り組みを着実に推進し、成果に結びつけることができた1年でした。また、税金などに占め



る借金の返済負担の割合を示す「実質公債費比率」は、前年度からさらに改善して0.6%となり、あらためて財政の健全性を確認しました。

## 平成27年度の 主な事業

### ●川島市民サービスセンター建設事業

公共施設100%耐震化に向けた取り組みとして、大規模災害時の拠点となる、川島市民サービスセンターと西部方面消防署川島分署の新庁舎を建設し、あわせて消防団車庫を隣接して建設しました。



完成した川島市民サービスセンター

### ●U・イターン企業説明会出展事業

雇用の確保と移住定住の促進のため、大都市圏



就職ガイダンスの様子

の大学生などを対象にした就職ガイダンスに出展し、市内企業の情報提供を行いました。

### ●ふれあいバス・ふれあいタクシー運行事業

ふれあいバスの路線・ダイヤを大幅に再編するとともに、一部の地区でふれあいタクシーの運行を新たに開始しました。

### ●防災キャンプ開催事業

将来、地域防災リーダーとして活躍してもらえよう、小学校5・6年生を対象に、災害時の状況を体験するための避難所体験や地震体験、防災備蓄倉庫の確認などを行いました。

平成28年度  
一般会計補正予算

新たに定期接種化されるB型肝炎予防接種事業をはじめ、介護ロボット等導入支援事業や、条例制定の直接請求にかかる審査費用など、当面の行政需要に対応するため、予算の補正を行うものです。

歳入の主なもの

○県支出金

1億4150万円

○繰越金

1億2497万9千円

○繰入金

減額1億3850万円

歳出の主なもの

○B型肝炎予防接種事業

より高い効果が見込まれる1歳までの子どもを対象に、新たにB型肝炎ワクチンの予防接種を定期接種化するものです。

1506万5千円

○介護ロボット等導入支援事業

介護事業所に対し、介護ロボット導入のための費用補助を行い、介護従

事者の負担軽減を図るものです。

463万5千円

○条例制定の直接請求にかかる審査費用

庁舎の建て替えか耐震補強かを問う住民投票条例制定請求の手続きの中で、請求代表者より提出される署名簿の審査にかかる費用です。

239万円

○かかみがはら航空宇宙科学博物館整備事業

博物館のリニューアルに伴い、地方創生推進交付金を活用して、映像などの展示物を制作するものです。

1754万5千円



介護用ロボットの一例

その他の議案

少年自然の家条例の一部改正

本来の利用者に支障がない範囲で、少年自然の家研修室や集会室などを貸し出せるようにするため、この条例を改めるものです。

工事請負契約の締結

雄飛ヶ丘第2住宅A棟耐震補強等工事（建築）の契約を、沢井・日鋼特定建設工事共同企業体と1億6858万8千円で締結するものです。

意見書

今定例会に議員から意見書が提出され、いずれも可決されました。

●チーム学校推進法の早期制定を求める意見書

●返済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書

●「同一労働同一賃金」の実現を求める意見書

●学校ICT化推進事業

児童生徒がより分かりやすく学べる環境を整備するため、すべての小学校に電子黒板や書画カメラ、デジタル教科書などのICT機器を導入しました。



ICT機器を使った授業の様子

●各務原寺子屋事業

未来を担う子どもたちの育成のため、地域ボランティアを中心とした放課後学習室の開設や、ものづくりを行っている企業の見学、高齢者や障がい者と交流する福祉体験学習などを行いました。

●4歳児視力検査事業

弱視の早期発見・早期治療のため、4歳児を対

象に視力検査を行いました。

●生活困窮者自立支援事業

生活保護にいたる前の、生活に困窮している方に対する相談窓口を設け、自立支援プランの作成や自立に向けた生活支援を行いました。

●新那加駅周辺地区都市再生整備事業

新那加駅周辺地区における高齢者や障がい者などの移動の円滑化を推進するため、バリアフリー化を計画的に推進するとともに、JR那加駅前男子・女子・多目的トイレを設置しました。



完成したJR那加駅前トイレ



炊き出し訓練をしている子どもたち

**総務常任委員会**

**平成27年度一般会計決算の認定(所管分)**

▼問 防災キャンプに参加した児童の感想は。

▼答 参加児童のアンケートによると、約9割の児童は参加して良かったという回答で、特に煙体験や地震体験、炊き出し訓練などは好評だった。

### 委員会審査

今期定例会に提出された各案件を詳しく審査するため、9月29日から10月4日までの4日間で委員会を開催し、審査を行いました。

各委員会での主な質疑内容は次のとおりです。

その中には「体育館での宿泊は暑かった」「体が痛かった」などの意見もあった。

▼問 法人市民税が増えた要因は。

▼答 製造業で特に業績の良い企業が数社あった。また、それ以外の企業においても、景気の回復や輸出環境の改善により、全体的に業績が良かったためと考えている。

▼問 収納率が改善した要因は。

▼答 現年の滞納者に対する電話催告を行ったことや、コンビニ納付・口座振替の推進などの納税環境の整備・充実を行ったこと、毎月夜間・休日に納税相談を実施し、個別の事案に細かく対応し、ことが挙げられる。

▼問 口座振替による納

付件数は。

▼答 18万99件である。

▼問 市税において、不納欠損処理をした理由は。

▼答 死亡・競売・破産などにより無財産となったものの、生活困窮や所在不明などによる滞納処分執行停止後、規定年数を経過したもの、再三の催告や調査にもかかわらず、時効を迎えたものがある。

**平成27年度国民健康保険事業特別会計決算の認定**

▼問 特定健診の受診率と、受診率を上げるための取り組みは。

▼答 受診率は28・8%である。

啓発のぼりや、医療保険課の窓口の椅子に受診をPRするカバーを取り付けたほか、産業文化センター前に懸垂幕を設置

**民生消防常任委員会**

**平成27年度一般会計決算の認定(所管分)**

▼問 生活困窮者の自立を支援するための相談窓口を設けたが、件数や内容は。

▼答 一度に多くの相談をされることがあるので



健診PRのための懸垂幕

また、糖尿病で治療中の方にも案内を送付し、特定健診を受診していただいたり、受診する代わりに、血液検査の結果データを提供していただく取り組みを県内で初めて開始した。

また、糖尿病で治療中の方にも案内を送付し、特定健診を受診していただいたり、受診する代わりに、血液検査の結果データを提供していただく取り組みを県内で初めて開始した。

また、糖尿病で治療中の方にも案内を送付し、特定健診を受診していただいたり、受診する代わりに、血液検査の結果データを提供していただく取り組みを県内で初めて開始した。

また、糖尿病で治療中の方にも案内を送付し、特定健診を受診していただいたり、受診する代わりに、血液検査の結果データを提供していただく取り組みを県内で初めて開始した。

延べ件数になるが、収入・生活費の相談が1072件、病気や健康・障がい相談が740件、金銭管理や家計の相談が392件、仕事探し・就職の相談が324件である。

▼問 保護が必要な児童などへの適切な対応のための取り組みは。

▼答 「要保護児童対策及びDV対策地域協議会」を年に1回開催し、関係機関の連携を図っている。

また、困難なケースについて話し合う育児支援検討会を月に1回、個別ケース会議を年に30回程度開催している。

▼問 学童保育の学年別の利用児童数は。

▼答 平成27年4月1日時点では、1年生が409人、2年生が333人、3年生が230人である。

▼問 学童保育の利用児童数が増加した要因は。

▼答 母親の就業率が高まっていることから、低学年の児童の入室率が上がってきていると考えている。

### 委員会審査

▼問 認定こども園と幼稚園・保育所の違いは。

▼答 幼稚園は3歳児以上が就園する。

保育所は0歳児から就学前までの子どもを保育している。

認定こども園は、幼稚園に保育所機能が併設されている。

▼問 認定こども園に子どもを預けている保護者から、保育の子と幼稚園の子で生活のずれなどがあるのでは、というような意見は無かったか。

▼答 特色を出しながら創意工夫をして保育をしていたらいい。

特に問題は生じていないと考えている。

▼問 救急救命士の有資格者数は。

▼答 すべての救急車に配置できる39人が資格を持っている。

▼問 消火栓などの不良箇所をどのように発見・修繕したのか。

▼答 消防職員が消防水利の点検を年に2回行い、その時に不良箇所を発見



消火栓の点検を行っている消防職員

し修繕している。

経済教育  
常任委員会

平成27年度一般会計決算  
の認定(所管分)

▼問 U・Iターン企業説明会出張事業において、本市のブースを訪れた人数は。

▼答 東京では22人、京都では21人、名古屋では98人で、合計で141人の方が訪れた。

▼問 放課後学習室事業の効果と反応は。

▼答 放課後学習室は小学3年生が対象で、週1回または2回、6時間目に行った。

子どもたちの9割以上が「参加して良かった」「楽しい」「学習がよくわかる」との反応だった。

▼問 ふれあいバスリニユール前後の利用者数の比較は。

▼答 平成26年度が16万633人、平成27年度は半年間リニユール前の利用者も含まれるが、17万2151人となっており、1万1518人増えている。

▼問 宇宙飛行士による講演会の集客数と反応は。

▼答 文化ホールで行った山崎直子氏の講演会には約500人、市民会館で行った油井亀美也氏の



油井亀美也氏による講演会(市民会館)

講演会には約1000人が集まった。

子どもたちからは「宇宙飛行士の訓練を体験してみたい」「宇宙飛行士になるため、JAXAに入ってみよう」との感想があった。

▼問 「かかみがはらプレミアム商品券」はどのような店舗で利用されたか。

▼答 商品券は1枚1000円で、大型店では24万7914枚(約52%)、中小店では23万989枚(約48%)利用された。中小店でも多く使ってもらったことができて考えている。

▼問 空コンの参加人数と成果は。

▼答 男性が27人、女性が30人である。

空コンには、婚活以外にシティブロモーションという視点もあり、すぐに定員いっぱいとなったことから、PR効果は高かったと考えている。

▼問 通学路見まもり隊の状況は。

▼答 市内全域で2253人の方が登録している。

子どもたちとのつながりを深めるため、対面式や感謝の会を各小学校で行っており、5年間活動された方は、市民会議の中で表彰している。

建設水道  
常任委員会

平成27年度一般会計決算  
の認定(所管分)

▼問 木造住宅耐震補強助成の実績は。

▼答 平成26年度から8件増え、20件である。

▼問 日野岩地大野線の進捗よく状況は。

▼答 事業用地の91%を取得し、道路工事に着手した。

事業費ベースの進捗率は32%である。

▼問 こども環境教室の内容は。

▼答 夏休みに専門の講師から、環境保全の難しさや必要性などを「水質」「生物」「地球環境」の分野から学ぶもので、102人の参加があった。

▼問 北清掃センターの太陽光発電の発電量と売電量は。

▼答 年間発電電力量は3万9150キロワット時である。

施設が稼働していない休日は売電しており、売電量は発電量の約25%である。



北清掃センターの太陽光パネル

▼問 資源集団回収の実績が減っている要因は。

▼答 民間企業が24時間365日出せる回収の拠点を整備しており、利便性の高い施設の利用が増えてきているためだと考えている。

▼問 地下水の水質観測の結果は。

▼答 過去に硝酸性窒素による汚染があった鶴沼南部の耕作地域において、基準を超えた地点は減っているが数カ所基準を超える地点が残っている。

広がりはなく現状を維持している。

▼問 環境に関する苦情処理件数49件の内容と、その対応は。

▼答 騒音振動などが22件、水質が20件、悪臭が6件、大気汚染関係が1件である。

規制基準を超えている場合は、県と市で指導している。

平成27年度水道事業会計決算の認定

▼問 水道配水管の耐震化工事状況は。

▼答 総延長約808kmのうち、耐震管の敷設延長は約215kmであり、耐震化率は26.6%である。

また重要な管路である基幹管路は、総延長約49kmのうち約40kmが耐震適合性を有しており、約82%となっている。

委員会調査報告 (他市への視察)

議会運営委員会

〈期間〉6月28日～29日

本市の新庁舎における議会機能の検討のため、近年開庁した他市の議会機能を視察した。

○長野県安曇野市

(平成27年7月に開庁)

議場も含めた庁舎全体の内装材に長野県産の力ラマツ材がふんだんに用いられており、木のぬくもりを感じさせる落ち着いた雰囲気印象的である。

また議場内部の丸みを帯びた天井は、議場全体を柔らかな雰囲気にするとともに、重量を分散させる構造で建築資材の削減にもつながっている。

○長野県長野市

(平成28年1月に開庁)

議場の壁や机などの仕上げ材に県産材を用いており、全体的に白とベージュ系の明るい色調でま

とめられている。

議席の配置は半円形であり、質問席が見やすい配置となっている。

2市の視察では、議場内の設備や委員会室なども視察し、議会機能を検討する上で数多くのヒントを得た。



議会運営委員会視察 (長野市)

市議会だより編集委員会

〈期間〉7月27日～28日

○新潟県燕市

「議会がグッと近くなる つばめ市議会 ノートブック」という斬新な

名前の市議会だよりを発行している。

表紙のタイトルの重要性やスペースの効果的利用などを意識した紙面は、

市民から評判も良く、他市からの視察も多い。

○長野県東御市

かつての市議会だよりは文字が多く、あまり読んでもらえていなかったことから「読んでもらえる」を目標に先進事例から学び、良い部分を取り入れた。

読みやすくするための取り組みの1つとして、1行の文字数を従来の3分の2に減らし、記事を読む時の目の上下動を少なくしている。

また議会Q&Aと題し、議会の活動内容や専門用語を、ポイントを絞って市民に分かりやすく簡単に解説している。

さらに、市民の方に地域の伝統行事などの紹介記事を作成してもらったことが、議会と市民のつながりとなっている。

2市とも、読みやすい紙面に向けて試行錯誤を重ねており、本市の市議会だよりにおいても読みやすい紙面づくりの検討を続けていきたい。

## 審 議 結 果 (9月定例会)

- 固定資産評価審査委員会委員の選任(廣瀬悟道氏)…………… 原案同意・全会一致
- 専決処分承認(福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例)…………… 原案承認・全会一致
- 平成27年度一般会計決算の認定…………… 原案認定・賛成多数
- 平成27年度国民健康保険事業特別会計決算の認定…………… 原案認定・全会一致
- 平成27年度介護保険事業特別会計決算の認定…………… 原案認定・賛成多数
- 平成27年度後期高齢者医療事業特別会計決算の認定…………… 原案認定・全会一致
- 平成27年度下水道事業特別会計決算の認定…………… 原案認定・全会一致
- 平成27年度水道事業会計決算の認定…………… 原案認定・全会一致
- 平成28年度一般会計補正予算(第2号)…………… 原案可決・賛成多数
- 平成28年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)…………… 原案可決・賛成多数
- 平成28年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)…………… 原案可決・全会一致
- 市税条例の一部を改正する条例…………… 原案可決・全会一致
- 市立学校設置条例の一部を改正する条例…………… 原案可決・全会一致
- 少年自然の家条例の一部を改正する条例…………… 原案可決・全会一致
- 工事請負契約の締結(かかみがはら航空宇宙科学博物館リニューアル工事(建築))…………… 原案同意・賛成多数
- 工事請負契約の締結(かかみがはら航空宇宙科学博物館リニューアル工事(空気調和設備))…………… 原案同意・賛成多数
- 工事請負契約の締結(かかみがはら航空宇宙科学博物館リニューアル工事(電気))…………… 原案同意・賛成多数
- 工事請負契約の締結(雄飛ヶ丘第2住宅A棟耐震補強等工事(建築))…………… 原案同意・賛成多数
- 損害賠償の額を定めること…………… 原案可決・全会一致
- 平成27年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分…………… 原案可決・全会一致
- 市道路線の認定(市道鵜1385号線ほか4路線)…………… 原案可決・全会一致
- 市道路線の廃止及び認定(市道川40号線)…………… 原案可決・全会一致
- 平成28年度一般会計補正予算(第3号)…………… 原案可決・全会一致
- チーム学校推進法の早期制定を求める意見書…………… 原案可決・賛成多数
- 返済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書…………… 原案可決・賛成多数
- 「同一労働同一賃金」の実現を求める意見書…………… 原案可決・賛成多数

# 市政を問う 一般質問

9月26日、27日の2日間で一般質問を行いました。  
質問をした議員は次のとおりです。(発言順)

- 瀨川利生、黒田昌弘、吉岡健、水野盛俊、永治明子、
- 五十川玲子、仙石浅善、坂澤博光、横山富士雄、岩間純正、
- 波多野こうめ、大竹大輔、杉山元則、津留忠孝

## 在宅医療体制の構築

### 「在宅医療ガイドブック」を全戸配布

▼問 市が中心となり、医療関係機関などの連携を築きながら在宅医療体制を構築してはどうか。

▽答 平成37年までに団塊の世代が75歳以上となり、地域において医療や介護を必要とする高齢者が、大きく増加することが予測されている。

このような中、関係機関が連携し、継続的な在宅医療・介護を提供することが求められている。

そのため、市医師会や介護関係者などに協力してもらい、切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進や医療・介護関係者の情報共有

などを整備し、地域包括ケアシステムの構築を進めているところである。

市医師会には、市や関係機関と協働して地域在宅医療連携推進事業を実施し、全戸配布した在宅医療ガイドブックや、認



全戸配布した在宅医療ガイドブック

知症の方のためのパンフレット(ケアパス)を作成していただいている。今後、切れ目なく在宅医療と介護が一体的に提供される体制の構築を目指していく。

## 子育て支援対策

▼問 学童保育の民間委託は中止すべきでは。

▽答 今後、ますます増加することが予想される入室希望に添えていくためには、運営形態にこだわることなく、学童保育を安定的に実施することが最も重要な責務だと考えている。

また入室決定や保育料の徴収は、市の責任において実施していることに



学童保育で行っているスポーツ鬼ごっこ

変わりはなく、民間委託を中止する考えはない。

▼問 教育・子育て・福祉の相談窓口を一元化することはできないか。

▽答 多様な問題を抱えた家庭にとつて、さまざまな部署に出向くことは負担であると認識しているが、複雑なケースに対して専門性を発揮できるという良い点がある。

また相談窓口を一元化することで、相談内容が他部署に知られたくない方が相談をためらうことなどが考えられ、問題の早期発見・早期対応につながる恐れがあるため、慎重に検討する必要

## 小児B型肝炎ワクチン

▼問 B型肝炎ワクチンの定期接種化を受け、本市の対応は。

▽答 広報紙やウェブサイトなどで周知を行うとともに、4カ月児健診時や医療機関で対象者の方へ直接案内をしている。

▼問 予防接種の打ち忘れや間違いを起こさないための予防策は。

▽答 子どもが生後2カ月になる直前に、乳幼児期に接種する予防注射の予診票兼接種券をガイドラインや案内などと合わせて郵送し、予防接種がいつの段階から開始となるのか個別にお知らせしている。

### 事業成果や実績の評価を公開

#### 総合計画の着実な推進につなげる

▼問 平成27年度の事業成果や実績をどのように評価しているか。

▼答 今回の総合計画では、客観的な指標に加え、市民の意識の変化によって成果を測る主観的な指標を設定した。

この指標を活用した新たな取り組みとして「行政評価」を実施することとしており、指標の進捗よく状況をもとに事業の現状分析や課題、対策などを検討していく。

また、外部有識者で構成される「まちづくり推進会議」においても、妥当性や客観性などの評価の有効性を審議していただいている。

今後市民主体の評価の切り口として注視し、総合計画の着実な推進につなげていく。

▼問 企業版ふるさと納税の対象事業は。

▼答 企業版ふるさと納税とは、自治体の雇用創出や子育て支援など、幅広い事業に対して企業が寄付を行った場合に、税控除の優遇措置を受けることができる制度である。

本市では「博物館を核とした航空宇宙産業都市魅力向上事業」が対象となっており、博物館本館の改修などに活用する予定である。

▼問 今後の取り組みは。  
▼答 今後は県と協力しながら、対象事業に賛同いただけそうな企業に対して働きかけをするとともに、ウェブサイトによる情報発信を行う。

### 期日前投票所

▼問 参議院議員通常選挙よりアピタ各務原店に

期日前投票所を設置したが、利用者数と反応は。  
▼答 7月6日から8日の3日間で合計2887人の利用者があった。「駐車場が広くて来場しやすい」「投票ととも



アピタ各務原店に設置された期日前投票所

▼問 期日前投票所増設などの情報の周知方法は。  
▼答 広報紙の掲載に加え、ウェブサイトでのご案内やアピタ各務原店での案内看板設置・店内放送、入場整理券に期日前投票所の設置期間の掲載などを行い、周知した。

▼問 今後、期日前投票所の増設や実施日を延長

する考えは。  
▼答 人員配置や資機材の確保などの課題の検証を踏まえ、選挙全体を見据えて総合的に判断していく。

### 離婚後の養育支援

▼問 子どもを持つ夫婦が離婚した場合、約8割は女性側が親権を持っているが、子どもを含めた生活環境の確保と、子どもの貧困を防ぐための養育を担保する支援制度は。  
▼答 平成23年の民法の一部改正により、協議離婚の時に子どもの利益を最も優先しなければならぬ点が加わり、面会交流・養育費について、しっかりと協議する事となっている。

市は離婚手続きの時に、子どもの養育に関して夫婦間でじっくり協議していただくようチラシを配付したり、養育費や面会交流に関しての具体的な

手続きや協議すべき項目などについて、必要に応じてまちづくり推進課や子育て支援課で助言をしていく。

同時に、庁内横断的なワーキンググループを立ち上げ、子どもの貧困を防ぐなど生活保持の支援体制を検討していく。

### インターシップ

▼問 各務原市役所でのインターシップの実施方法と成果は。  
▼答 インターシップの申し込みをされた学生の希望に基づき、それぞれ受け入れ日数、部署などを決定し、職場での実習を行っている。

職場を体験した学生からは「各務原市役所の仕事にさらに興味を持つ事ができた」などの感想があった。

今後参加者には、働く場としての市役所の魅力を伝えていきたい。

# ビジネス相談窓口を開設

## 小規模事業者のあらゆる相談に対応



かかみがはらビジネス相談窓口

▼問 かかみがはらビジネス相談窓口開設の経緯は。

▼答 小規模事業者が継続的に発展するため、売り上げ向上や経営改善などを気軽に相談できる場の必要性が高まっていることから、国の支援機関である、よろず支援拠点のサテライト会場として開設した。

▼問 相談状況は。

▼答 8月末までに45件の相談があった。

相談内容は、経営のノウハウや新規創業、人材育成などさまざまであり、よろず支援拠点のコーディネーターが商工会議所など他の支援機関と連携し、課題解決に向けた支援をしている。

▼問 平成27年度に、補助金申請にかかる支援を行った件数は。

▼答 金融機関・商工会議所との共催で、各種制度や申請にかかる留意点などを説明する中小企業向けの施策活用セミナーを2回開催し、いずれも120人以上の参加があった。

さらに、個別相談会では50社の相談に対応した。また、設備投資に関する補助金申請支援を9件行い、4件が採択された。

▼問 創業支援件数は。

▼答 108件支援し、8件の創業につながった。

# 教育の国際化

▼問 小学校で英語が教科化されることにより、期待できる効果は。

▼答 次期学習指導要領において、小学校の中学年と高学年で英語が教科となる。

英語が教科化されることで、言語や文化について理解を深め、コミュニケーション能力の基礎を養うことができ、また国際理解を深めながら、グローバル社会で活躍できる力の育成が期待できる。

▼問 アクティブ・ラーニングの効果は。

▼答 アクティブ・ラーニングという能動的学習を通して、仲間と協働し、主体的に問題を発見し解決していく力の育成が期待できる。

また、根拠や理由を明らかにして考えを述べる力や主体的に学習に向かう力の育成など「誇り・

# 一般質問

やさしさ・活力」のある児童生徒の育成が期待できる。

# 移住定住促進

▼問 You turnプロジェクトの狙いは。

▼答 本市を離れて仕事をしている方の親などに対して、Uターンなどのさまざまな情報を提供し、移住定住人口の増加などを促進するものである。

本市の出身者に絞って情報を提供するということは、効果的かつ効果的だと考える。

▼問 空き家を借り主が好きなように自分で改修できる「空き家リノベーション事業」を、どのように移住定住の促進につなげるのか。

▼答 ライフスタイルにこだわりのある若い世代を対象に、市外にも事業の魅力を発信することで、若い世代を呼び込み、移住定住の促進につなげて



リノベーション事業で利活用が期待される空き家

いく。

▼問 新たに導入したふれあいタクシーの反応は。

▼答 昨年10月の導入から8月までで、延べ400人以上の利用があった。

多くの利用がある中、使い方や仕組みに対する意見などをいただいた。

▼問 仕組みなどを改正する予定は。

▼答 平成29年4月にミニ改正をする予定である。予約時間は、利用の45分前を締め切りとし、さらに乗り継ぎ拠点としてJR各務ヶ原駅を加え、運行時間も変更する予定である。

# 市民協働によるインフラの維持管理

## 自治会長専用ポストの設置を検討

▼問 道路などのインフラの不具合について、自治会からの要望書以外で連絡があり対応した件数は。

▼答 平成27年度は道路の穴ぼこや側溝のふた割れ、草刈りなど約1100件に対応した。

公園や河川については、遊具の不具合や樹木の剪定、水路の破損など約500件に対応した。

▼問 要望書に対応した中で、仮に要望書がなくても対応できたと考えられる件数は。

▼答 道路については90件、公園や河川については6件が対応できたと考えている。

穴ぼこや遊具の不具合など、事故につながる恐れがある事案については、要望書がない場合でも迅速に対応する。

▼問 要望書の提出方法

を簡素化できないか。

▼答 最近の自治会長はそれぞれ仕事をされながら、地域でも自治会長としての仕事をされており、多忙な方が増えている。

そのため、各種提出書類を曜日や時間に関係なく提出できるように、市役所および各市民サービスセンターに「自治会長専用ポスト」の設置を検討している。

▼問 ICTを活用し、市民協働でインフラの維持管理を行う考えは。

▼答 スマートフォンなどのアプリを活用することとは、幅広い世代にインフラや行政に関心を持ってもらえ、市民協働によるまちづくりにつながるかと考えている。

ICTの利活用については、現在策定中の「第3次ICT基本計画」で検討しており、アプリの

活用についても、費用や効果などを調査していく。

## サイクリングコース

▼問 各務原大橋から浄水公園周辺にかけての整備計画は。

▼答 浄水公園西側の未利用地は、木曾川周辺整備事業として国に補助金を要望している。

各務原大橋東側のサイクリングコースの整備も合わせて検討していく。

▼問 サイクリングコースを利用し開催したイベントの実績は。



サイクリングコース (木曾川右岸)

## 公営墓地

▼答 平成27年11月29日に「かかみがはらDEウオーキング」を開催し、1182人が参加した。また、全国レクリエーション大会のオリエンテーションにおいてもサイクリングコースを利用し、100人を超える参加があった。

他にも、稲羽川島自治会連合会においてウォーキングイベントが開催された。

▼問 公営墓地のアンケート調査の結果は。

▼答 40・50・60歳代の世帯主それぞれ300人、70歳代の世帯主100人に調査票を発送し、47人から回答があった。墓地を所有している方は60・1%、所有していない方は34・8%であった。

また、継承について心配ない方が39・7%、継



公営墓地の「瞑想の森」

承者はいるが負担をかけたくない方が40・7%、継承者がいない方が10・3%であった。

▼問 今後の公営墓地の整備は。

▼答 少子高齢化や核家族化が進み、身近に親族がいらない方が増加する見込みである。

また、合葬型などの継承の心配がいらぬ墓を希望される方が多いことから、共同墓地の整備を検討していく。



# こんな街がいいな!

～わたしたちの夢・願い～

### 救命講習を受けてみませんか



鵜沼朝日町  
矢野 賢吾さん

私は、応急手当普及員の認定者で、市のイベントにおいて応急手当やAEDの使い方を教えています。

また、消防職員の補助をして、高校生の授業で応急手当の流れを普及啓発しています。

昨年県内で救命講習を受けた高校生4人が登校中に倒れている女性を発見し、119番通報する人、心臓マッサージをする人、声をかけて励ます人、携帯電話で消防本部の助言を聞く人と、協力することで心肺停止の女性を助けることができました。

私達の小さな力でも助かる命があります。

多くの人に救命講習を受けていただき、家族や大切な方の命を守ってほしいと思います。

### 未来に向けて



那加昭南町  
引原 由実さん

結婚と同時にこの街に居を構えて、もう30年になります。

市外で勤務するようになってからは、県内や県外の方々との交流も多く、そういう時、まず話題になるのが、居住地や出身地などです。

意外に多いのが、各務原市に結婚した娘が住んでいるとか、息子が働いているというものです。

そんな場合は一気に親近感がわいて、市内の話題で盛り上がります。

高齢化が進むとともに、人口も伸び悩むと思いますが、私がおもって年齢を重ねても、この街に住んでいたいと思えるような、高齢者も障がい者もみんな仲良く暮らせる街になると嬉しいなと思います。

### 安心安全な「まち」を目指して



上中屋町  
河田 鎬次さん

私は地元で子どもたちに関わるボランティア活動をしています。

時間の許す限り、子どもたちの下校時には街頭に立つようにしています。

過保護かも知れませんが事件・事故に巻き込まれてからでは遅いのでその間、出会った子どもたちにも、声をかけるようにしています。

地域でも不審者情報を耳にし、常に危険と隣合わせであることを忘れてはいけないと思います。

一人でも多くの方が防犯意識を高め、犯罪を起こしにくいまちづくりをし、子どもたちの楽しい声が響きあう「まち」になることを心から願ってやみません。

## ひょうご

▼いつも市議会だよりをご覧いただきありがとうございます。ごさいます。

「陰徳あれば、陽報あり」

これは、私が座右の銘とする言葉です。

市民の方からすると、議員は表の存在だと思われ

るかも知れませんが、私は影の存在であると自負しています。

この市議会だよりの編集も「市民の皆さんに議会などで行われている様子を少しでもお伝えすることができれば」との思いに立って、これからも努力していきたいと思っています。(黒田昌弘)

▼市議会だより編集委員を拝命して2年目となりました。

そこで、最近気になるようになったのは、他市町村の議会だよりです。

議員の熱い思いが伝わってくる議会だよりがあれば、詳細な議会報告が

### 市議会を見にきませんか？

#### 平成28年12月定例会の日程(予定)

11月30日	本会議 開会
12月14日・15日	本会議(質疑、代表・一般質問)
12月19日・20日	常任委員会
12月22日	本会議 閉会

※日程は議事の都合により変更になる場合があります。

ギッシリ掲載されているものなどさまざまで、本市の市議会だより編集の参考になります。先進事例や良いことは、積極的かつ柔軟に取り入れることが大切です。「知らずば人に問え」ですね。(大竹大輔)

委員長 仙石浅善  
副委員長 岩田紀正  
委員 黒田昌弘  
大竹大輔  
瀬川利生  
坂澤博光



環境保護のため植物インキを使用しています。